

(3) 改革の3原則

- 2020改革は、「都民ファースト」、「情報公開」、「賢い支出（ワイズ・スペンディング）」の三つの原則に基づいて、取組を進める。

改革の3原則

都民ファースト

- 都民の利益、満足度を第一に考え、政策、施策及び事業を実施するに当たって、都民のニーズに即した政策等が展開されているか、利用者の目線で政策等を点検し、見直す。

情報公開

- ホームページや開示請求による情報公開にとどまらず、政策や都が目指すべき方向性等について、積極的に情報公開する。さらに、都民にわかりやすく発信するとともに、利用者や納税者の目線でチェックを受けることで、自律的な見直しにつなげていく。

賢い支出 (ワイズ・スペンディング)

- 都が実施するあらゆる政策等について、納税者の目線から、その費用が正しく有効に使われているかを点検し、見直す。単なる費用の削減ではなく、生産性を高め、費用対効果を最大化することを目指し、費用と効果の両面からチェックしていく。

情報公開のレベルアップ

【レベル3】

情報を広く発信し、多方面から比較・評価されることにより、PDCAサイクルに基づいた、政策や事業の自律的・継続的な改善を図る。

【レベル2】

都が実施する事業の内容や取組状況等についての見える化を進め、ベンチマーキングによる課題発見等につなげる。

【レベル1】

都の事業をホームページやパンフレットで紹介する。都民からの請求(開示請求)に基づき情報を公開する。